

2010年3月11日

静岡大学教職員組合 2009年度第3回団体交渉 議事録

日時：2010年3月11日

場所：本部大会議室

出席者：

当局側：興学長、渡辺総務部長、西村財務担当理事・事務局長、田中財務施設部長、澤田人事労務課長、他部課より4名

組合側：村山委員長（教育）、田中書記長（人文）、渋谷委員（教育）、吉田寛委員（情報）、岡端（教育）、丹沢（教育）、近藤（工学）、水野（工学）、増田（工学）勝野（電工）、袴田（国際センター）、山口（書記）、吉村（書記）

1. 本年度以降の大学の財政状況と今後の方針について

1) 次期中期計画における「人件費削減計画及び教員の戦略的配置について」の今後の見通し

(西村) 22年度予算額の説明(資料)

1%削減は撤廃。臨時的措置として人件費を除いたものから削減されている。

増えたもの:退職手当+その他 特別手当(こちらから概算要求して認められたもの)
22年度までの人件費5%削減も達成可能な状況

(田中書記長) 今後は?

(西村) 23年度までは1%削減するように第二期中期目標中期計画に書くよう文科省から求められており、そう書いた。24年度以降は見えていない。民主党政権は高等教育に割と理解があるような印象である。

(西村→興) 鈴木副大臣が言っていたように、国立大学の現状を踏まえ、運営費交付金を16年度に戻さなければならないという理解があるが、マニフェストを実現する中で確実に担保できるとは限らない。戻るとしてもどう戻すかは不明。個々の大学の活動に応じてといった、社会の要請に答える形でという可能性がある。

2) 教員の基盤的教育経費の確保についての見通し

(田中書記長) 基盤的な教育経費の確保は必要だと思われる。その確保の見通しはどうか。

(興) 総額としては担保されると思われるが、競争的資金となるか(基盤的経費となるかどうか)については、白紙。大学には社会の要請に応える責務があり、そこに応えられないともらえないだろう。

2. 前回交渉において、結論に至らなかった事項についてお尋ねします。

1) 前回交渉においては、学長よりご発言のあった、非常勤の雇止め・技術職員・女性職員の昇格問題をふくめて、大学の教育研究活動という観点から、大学全体として検討するとしたことについて、検討状況について、またまた引き継ぎについて、ご説明をお願いします。

(個別の要求項目としては以下の4点に関わります。)

- ①法人化後採用の非常勤職員の一律雇止めについて：他大学の状況と制度改正
 - ②男女格差問題についての、制度面での検討状況
 - ③技術職員の待遇改善
 - ④浜松キャンパスでの任期付助教の待遇の改善：研究発表の助成額について
- 2) 教職員の待遇改善について：剰余金の使途について
- ①静岡浜松間の交通費での新幹線代全額支給
 - ②入試業務手当の積み増し
- 3) 非常勤職員の待遇改善について：介護休暇・看護休暇の新設について

(田中書記長) 組織についての継続・引き継ぎ事項について

(興) 給与・処遇の問題ではなく、教育・研究のポテンシャルの問題である。教育・研究組織の改革をどう進めるか議論するために、準備委員会を立ち上げた。正式な委員会は次の執行部で。企画調整会議構成員とその他が参加可能である。静岡・浜松にそれぞれ研究所の設置などを考えている。電電、遺伝子実験施設の改組など。技術部門長がトップになって仕事する研究所などが必要と考えている。伊東次期学長に引き継ぎ、メッセージとして出す。

(田中書記長) 技術部長会議で、将来的にどういう形がよいのか、アンケートを取ったとうかがっているが。

(渡辺) 今は、技術部の人には部局別にばらばらだが、統合するべきかどうかなどについて、アンケートを取った。

(興) アンケートに一喜一憂するのは適切ではない。部門長が絵を書くというのは適切ではないので、組織全体としてどういう形がよいのか考えるために生の声を集めた。それぞれの部局によって、経緯もばらばらである。

(勝野) 電子工学研究所でも所長と話をしています。技術職員の処遇改善のために組織を統合するということがありますが、技術職員は事務職員のように人事異動がほとんどできません。したがって、統合しても必ずしも処遇の改善にはつながりません。むしろ、上位級の定数を増やすべきです。大学の組織見直しも検討されており、技術部の組織見直しを急いで3月中にまとめる必要はないのではないか？

(興) まだ成案を得るという段階ではない。上位体系が何人かという給与体系に縛られる必要はない。抜本的に改革するべきだ。全体の財政との関係もあるが、全員が給与アップということがあってもよい。静岡大学として、技術スタッフはどうあるべきか、ということも考えなければ。

(勝野) 行政職と同じ給与体系が適用されている。教育職の給与体系ということも含めて、どういう給与がいいか検討していただきたい。

(興) そういうこともメモとして申し送りする。

(勝野) 技術部の運営方法についても、問題があると思います。技術職員が能力を発揮できるようなシステムを考えてもらいたい。

(興) 本学の研究組織としてどうあるべきかを議論する必要がある。技術補助・支援をされている方は、各教室にも臨時的雇用でいる。そのような方々が本学にどの程

度いるのか把握しないと、本学のポテンシャルが下がる。どういう形がいいのか。事務系の雇用形態とのバランスもとる必要がある、技術職員と事務職員のでこ入れが重要である。両者には、高いポテンシャルを希求してほしい。

(田中書記長) 非常勤職員の正規職員雇用について、4名のうちの3名は登用の見込み。あと一名もよろしくお願ひしたい。

(西村) 1名は確定。残りについては、東海・北陸・北陸ブロックの公務員試験を受けてきた人とのバランスを取る必要がある。

(田中書記長) 非常勤職員一律雇い止めについても、再度新規に雇い直すなど、柔軟な対応が他大学で出てきている。(5年一律雇い止めを2010年度より実質的にとりやめることになった京都大学についての資料を提示、説明。)

(澤田) 公募の時に、連続であっても、優秀であれば再雇用があり得るということですか？

(興) 他機関の例も考慮して、柔軟に考えないとならない。京都大学の新しい制度については、検討するとは言いませんが、受け取りました。伝えます。しかし、雇い止めはやむをえず必要で、長期雇用も避けたい事情がある。

(田中書記長) 剰余金についての現状と使い道

(西村・田中財務理事) 目的積立金は次期中期計画に繰り越せない。使い切る予定。2月末時点では90%執行済である。使い残しのないように催促している。

(田中書記長) あとからあとからお金が配分されてきている。年度がつまってきたからも配分されており、使いにくい。

(田中理事) こちらは当初配分で渡している。しかし、それをどうするかは部局によってまちまちで、その実態までは把握していない。当該の部局で確認してほしい。

(興) 学部長裁量経費については、確かに遅かった。

(田中書記長) 任期付き助教の海外出張費については正しく使われたか把握していますか。任期付き助教が各部局で予算を確保するのは大変。

(西村) 配分の際に趣旨は伝えている。

(田中理事) 部局長会議で学部長に

(田中書記長) 非常勤職員の看護休業は無給だが、有給の看護休暇にして欲しい。

(西村) 現行では看護についての規定はあるが、介護はない。引き継ぎます。

3. 継続の課題について (確認事項)。

1) 静岡・浜松両キャンパス地域調整手当支給率の改善 (当面静岡 5%、浜松 4%に)

2) 技術職員の昇給・昇格の問題の改善

(2-1) 昇格基準の公開。

(澤田) 学長が約束したかどうかについて、以前の議事録を見て、組合に対して公開すると約束したとは言えないのでは。法人化前は文科省が全大教との交渉で公開したものを、全大教が各組合に渡していた。法人化後は各大学がつくる。

(興) 前にも言いましたが、昇格基準というのはお互いに情報を共有しておかないと、がんばる気が起きないですね。基準を公開することについて何ら問題はないと思います。

(西村) 出していいのではないか。ただし、実際の昇格は、評価も入るので、必ずしもこの基準通りというわけではないですが。

(興) 最新のものはちゃんとしたのだろうか。あるなら本来公開されるべきだ。

(2-2) 技術職員の採用に関して、一般公募の方の格付けをめぐる問題の改善策

(公募の際の給与提示の不明確さ・格付け基準の就業規則への明記・共通試験の受験等による改善の可能性)

(勝野) 公募で採用された技術職員(浜松で何人か採用されている)の給与が低い。大卒という学歴で募集・採用しておきながら、中卒の基準で計算して給与を払うのでは、ひどいのではないか。

(興) 事実に基づいて話すべきだ。そういうことであれば、腑に落ちないだろう。公募の書類を調べてみて、真摯に解答する。

(西村) 公募の時の書類はその通りになっている。初任給の格付けが公募通りでないとしたらおかしい。

(渡辺) 退職金は国が負担しているため、公務員の計算で格付けはやっている。そうでないと、大学独自の財源が必要になっている。

(興) 公募では「大卒後数年」となっている。これに照らして、確認してみます。

(水野) 今年度2名、昨年度3名、一昨年度2名。計7名の技術職員が採用されている。公募の書類に例示されていた「3年目17万四千円」を見て応募している。しかし、実際に受け取った給与がそれよりも低いので、現在、疑問に思っただけで問い合わせしている者もいる。これをしっかり踏まえてください。